

**(6) ファカルティ・ディベロップメント委員会****① 設置の趣旨（目的）及び組織****ア 組織設置の趣旨（目的）**

ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）委員会は、上越教育大学における教育活動の質的向上と発展を期して、FD 活動を実施することを目的としている。

**イ 組織の構成及び構成員等**

FD 委員会は、①FD 担当の副学長、②各専攻・コースから選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。）、③その他学長が指名した者の計 12 人で構成されている。

**② 運営・活動の状況****ア 委員会等の開催状況**

令和 4 年度においては、以下のとおり FD 委員会を 4 回開催した。

- ・ 第 1 回 令和 4 年 5 月 11 日（火）
- ・ 第 2 回 令和 4 年 7 月 26 日（火）
- ・ 第 3 回 令和 4 年 12 月 14 日（水）
- ・ 第 4 回 令和 5 年 3 月 7 日（火）～14 日（火）（書面審議）

令和 4 年度 FD 研修会及び FD 講演会の内容を検討するため、令和 4 年 6 月 23 日（木）に FD 研修会・講演会検討 WG を開催した。

**イ 審議された主な事項**

- i) 令和 4 年度 FD 活動計画
- ii) 令和 4 年度年度計画に係る実施計画の作成
- iii) 令和 4 年度授業公開の実施
- iv) 令和 4 年度学生による授業評価の実施
- v) 令和 3 年度学生による授業評価報告書の作成
- vi) 令和 4 年度前・後期「学生による授業評価アンケート」の集計結果に基づく自己評価レポートの作成
- vii) 令和 4 年度 FD 研修会及び FD 講演会の実施

**ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等**

- i) 令和 4 年度 FD 研修会及び FD 講演会の実施

FD 研修会及び FD 講演会については、FD 活動の一環として、ここ数年では、アクティブ・ラーニングを積極的に取り入れることにより、学校現場でアクティブ・ラーニングを実践できる教員を養成することを目的として開催している。令和 4 年度は、授業におけるアクティブ・ラーニングの理解を深める研修として、令和 5 年 2 月 14 日（火）に「ICT 活用を踏まえたアクティブ・ラーニングについて考える」をテーマとして研修会を実施した。

研修会には、アクティブ・ラーニングの積極的な導入に取り組む教職員及び学生等 22 人が出席した。

また、令和 4 年 10 月 26 日（水）には「大学教育における教育DXの現状とこれから」をテーマとして、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、オンラインでの講演会を実施した。

### ③ 優れた点及び今後の検討課題等

#### ア 優れた点

- i) 令和4年度FD研修会の参加者からは「同じ大学で教える教員同士で情報交換することの大切さを感じた。」や「普段あまり考えないことを系統的に考え、振り返る機会になった。」等の、講演会の参加者からは「具体的で分かやすく、今後の業務に活かすことができる。」や「最新の情報に触れることができ良かった。FDについてヒントになることがたくさんあった。」等の感想が寄せられた。
- ii) 学務情報システムと連携したWeb入力による授業評価アンケートシステムを実施し、引き続き、授業評価アンケートの効率的な実施及びコストの削減に寄与した。

また、新型コロナウイルス感染症防止対策のためオンラインでの授業実施についても対応した。

#### イ 今後の検討課題

- i) Web入力による授業評価アンケートシステムに係る回収率の向上及びシステムの充実
- ii) 授業公開における参観者数の向上
- iii) 大学院改組に伴う「教職大学院フォローアップセミナー」のあり方